韓国・台湾・そして シンガポールに広がる 「ブレース スマイル」

今年2月にはAOSとの調印式を開催予定

2018年2月に岡山市で開催される「第45回 公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会 岡山大会」では、シンガポールの矯正歯科専門医団体である「Association of Orthodontists Singapore（AOS）」と同コンテストの意義を共有し、「前向きに矯正歯科治療に取り組む患者さんにエールを送る」ことを世界に広めるための調印式が行われます。

アジアの矯正歯科治療の文化を高めるために

2015年に第42回名古屋大会にて行われた韓国の矯正歯科専門開業医団体「Korean Society of Orthodontists（KSO）」との間で商標使用許諾契約の調印が行われたのを皮切りに、翌年の第43回長野大会では台湾の矯正歯科専門開業医団体の「Taiwan Association of Orthodontists（TAO）」とも調印式が行われました。

アジアから広める「ブレース スマイル コンテスト」の輪！ アメリカにおいて矯正歯科治療が当たり前のように受け入れられる文化をアジアにもという思いで、これからも私たちはこの事業に取り組んでいきます。

「ブレース スマイル コンテスト」表彰式にて、KSO チョウ会長（左）、TAO リウ会長（右）と握手を交わす本会会長 富永

2017年6月、韓国・ソウルで開催された 第2回「ブレース スマイル コンテスト」 受賞作品

Korean Society of Orthodontists

韓国ブレスマの募集ポスター

1位の作品
「第3師団の白骨のような美しい歯列のために」

2位の作品
「綺麗になるローディング中…」

3位の作品
「ソンジオの健康な微笑探し」

Information

第13回「ブレース スマイル コンテスト」表彰式を当会ホームページにて掲載！

第13回「ブレース スマイル コンテスト」『もっと！輝く笑顔へ！』は今後、2018年2月21日（水）・22日（木）に開催される第45回日本臨床矯正歯科医会大会・岡山大会の開催初日に、最優秀賞はじめ各賞の表彰式が行われます。

後日、表彰式レポートを公式ホームページ内にて掲載いたします。ぜひ、ご覧ください。

■第13回「ブレース スマイル コンテスト」
『もっと！輝く笑顔へ！』
表彰式・「Association of Orthodontists Singapore」との調印式
●日程：2018年2月21日（水）
●時間：13：50〜14：40
●会場：ホテルグランヴィア岡山

日本臨床矯正歯科医会　公式ホームページ
http://www.jpao.jp/

発行元/公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会 広報委員会
JpAOニューズレター第5号　2018年1月1日発行　〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9（財）口腔保健協会内 Tel.03-3947-8891 Fax.03-3947-8341

JpAO ニューズレター January 2018 vol.5
Japanese Association of Orthodontists
公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会
http://www.jpao.jp/

Contents

○第13回「ブレース スマイル コンテスト」受賞者決定！
○韓国、台湾、シンガポールでも「ブレース スマイル コンテスト」開催 ほか

第13回「ブレース スマイル コンテスト」受賞者決定！

公益社団法人日本臨床矯正歯科医会と日本歯科矯正器材協議会が共同開催する矯正歯科治療中の方を対象にした笑顔のフォトコンテスト「ブレース スマイル コンテスト」、今年のテーマは『もっと！ 輝く笑顔へ！』。過去最高の 470 作品の応募から、今年の最優秀賞は高松市在住の大学生「坂本珠里さん」に決定しました。

香川の坂本珠里さまが最優秀賞に！

2005年からスタートした同コンテスト は、矯正歯科治療を積極的かつ前向きに取り組む患者さんの「笑顔に満ちあふれた写真」と「夢と希望にあふれたコメント」双方を審査の対象としたフォトコンテストです。今回、『もっと！輝く笑顔へ！』というテーマのもと集まった作品の中で最優秀賞に選出されたのは、香川県高松市にお住まいの大学生、坂本珠里さま。作品のタイトルは「踊る！よさこいスマイル♫」でした。写真とともに審査の対象となる応募コメントは――。

大学生になり、よさこいを始めました！ 歯並びが良くなってきて、自信を持って笑顔になれます！ 高知よさこいでは「笑顔がいい」と審査員からメダルを頂きました。 ブレースをつけた自慢の笑顔のおかげで、よさこいがもっと大好きになりました！！

というものでした。

一次審査の審査員（主催者や関連団体の代表者）からは、「日本の患者さんには、矯正歯科治療は自分のコンプレックスを治すといったネガティブなイメージを持つ人が多く見られますが、前向きな意識で治療を受けながら踊りに取り組む姿勢が素晴らしい！ もちろん写真の笑顔は、もっと素晴らしいです！」と評価が高かった作品です。

後日、日本矯正歯科学会の会場で行われた入選12作品（中ページ参照）から投票で受賞作品を選出する二次審査（この審査での最高得票が最優秀賞に輝く）会場では、「躍動感がある写真で笑顔が素晴らしい！ カメラ目線でないというところに自然さが感じられて、激しい動きの中の瞬間の笑顔をとらえる撮影技術も素晴らしい！」と矯正歯科医でありながら写真家のような感想を述べる人もいたようです。

最優秀賞
「踊る！ よさこいスマイル ♫」
坂本 珠里さま（香川県／19歳）

Comments

日本臨床矯正歯科医会 会長　稲毛 滋自

1946年米国の文化人類学者R.ベネディクトは著書《菊と刀》の中で、日本の文化は「恥の文化」だと断定しました。この断定に風穴を開けるべく、13年前に始まった「ブレース スマイル コンテスト」。今年もたくさんの素晴らしい笑顔に出会うことができました。ありがとう！

日本歯科矯正器材協議会 会長　宮島 勝

今回は前回に比べ1.5倍の応募数、2倍の二次審査投票数があり、応募者、投票者、主催者の沢山の笑顔に触れることが出来ました。この笑顔はアジアにも広がっています。

「応募写真のスマイル、投票する皆さんのスマイル、それを見て私もスマイル！」

全国の6歳から65歳までの幅広い年齢の男女から集まった470作品から優秀賞2点、大会賞が1点が選ばれました。

優秀賞
「家族三人ただいま矯正歯科治療中」
小川　友子さま（大阪府／46歳）

優秀賞
「キラキラ笑顔キラキラ坊主」
渡辺　雄児さま（埼玉県／11歳）

大会賞
「ごはん美味しい！」
行廣 史弥さま（広島県／17歳）

一次審査と二次審査では写真とコメントが審査の対象に

一般的にフォトコンテストというと、撮影者が受賞の対象になりますが、「ブレース スマイル コンテスト」は、歯の矯正装置（ブレース）をつけた笑顔の被写体に賞が贈られるユニークなフォトコンテストです。毎年応募テーマが決められ、そのテーマに沿った写真とコメントが審査の対象となります。

受賞作品は一次審査、二次審査を通して選ばれます。今回は、昨年9月14日に実施された一次審査により、応募470作品から入選12作品が選ばれました。さらに、10月19日・20日に札幌市で開催された第76回日本矯正歯科学会の大会期間中に入選12作品が掲示され、学会参加者による投票（全投票数865票）で最優秀賞1点、優秀賞2点が選ばれました。

優秀賞は大阪の小川友子さまとさいたまの渡辺雄児さま

次に、優秀賞2作品のご紹介をします。まずは、大阪府吹田市にお住まいの小川友子さまご一家の「家族三人ただいま矯正歯科治療中」です。

娘の矯正歯科治療をきっかけに私達両親も治療を始めました。少しでも娘の治療のつらさを共有したいと思っていたのが、逆に娘に励まされる日々です。いつか美しい歯並びの家族写真を撮ることを目標にみんなで頑張っています。

という応募コメントをいただきました。

審査員の一人は、「患者さんの歯並びがキレイになっていくのを見て、自分も矯正歯科治療を始めたいという方がおられますが、その最も身近な例ですね。矯正歯科治療中には“痛み”があるのは事実ですが、それを家族で克服し、健康な歯でこれからの人生をエンジョイしていこうという姿勢に感動させられました。お父さんまで治療を始められるのは珍しいケースです」と述べていました。

優秀賞2作品目は、埼玉県さいたま市にお住まいの渡辺雄児さまの「キラキラ笑顔キラキラ坊主」。応募はお母さまからでしょうか？

矯正治療を始めて1年になります。歯に矯正装置を装着しての生活、きっと慣れない事もたくさんあったと思いますが、キレイになっていく歯並びを雄児本人も喜んでいます。歯科帰りに撮った一枚。素敵な笑顔を見せてくれました。

というコメントをいただきました。

学会会場での二次審査では、矯正歯科医院の女性スタッフに「カワィイ～！」と大人気で、もしかしたら女性票が一番多かったかもしれません。本当にかわいらしい満面の笑顔です。

大会賞に選ばれたのは広島の行廣史弥さま

最優秀賞、優秀賞、大会賞の方々は、第45回日本臨床矯正歯科医会大会・岡山大会において表彰式が行われます。

また、これらの賞のほかに、大会賞として、今回は中四国支部から一作品選出されました。その作品が広島県福山市在住の行廣史弥さまの「ごはん美味しい！」です。コメントにはこう書かれています。

私は、歯列矯正をする前は自分の歯が好きになれませんでした。なので普段笑う時も歯を出さず控え目にしていました。しかし、治療を開始してからは、思いっきり歯を出して笑うことができ、自分の歯に自信が持てました！

「笑顔を取り戻す事は歯を美しくする以上に、矯正歯科医師として望むことです」と審査員の一人が話していました。

写真とコメントに熱心に見入る審査員の方々

二次審査ではパネル展示した入選作品を見て投票するという形式

一次審査を通過した入選 9作品

「笑顔でいっぱい」

「フットサル頑張るぞ！！」

「輝く白い歯！ 毎日笑顔！」
※作品の一部を加工しています。

「部屋とTシャツと姉貴」

「笑顔の力」

「ヒゲに似合わぬカラフル矯正」

「毎日頑張ってキレイになるぞ！」

「青組頑張れ～」

「還暦前の勇気」